

【JCC水産業クラウドWGキックオフ：議事録】

■日時 2011/9/12（月）10:30-12:30 IBM箱崎本社

■参加者（順不同・敬称略）

別紙メンバーリスト参照

■アジェンダ

①水産業クラウドWGに向けたご挨拶

日本アイ・ビー・エム（株） Smarter Cities CTO 岩野 和生 執行役員

②WG目的と概要

日本アイ・ビー・エム（株） 官公庁IBDT、SC推進担当 加茂 義哉

③メンバーご紹介

④水産業事例ご紹介① 水産物のトレーサビリティーの現状～日本とノルウェーの比較～

三重大学 生物資源学部 生物圏生命科学科 准教授 勝川 俊雄 様

⑤水産業事例ご紹介② 鮮魚の達人 自己紹介とこれからの取り組み

有限会社 鮮魚の達人 代表取締役 山根 博信 様

⑥今後の進め方（案）ご提案

日本アイ・ビー・エム（株） A I S. スマーターコマース事業開発 末次 信治

■全体に関するご意見（以下敬称略）

- ・ サブワーキンググループ（SWG）への複数参加は可能か？切り口が難しく、どれと決めるのは難しい。少なくとも、別グループだとしても、お互いの議論をリアルタイムで知っている必要があるし、他のグループの討議状況に意見できるような仕組みが必要。

（三重大学 亀岡）

→ 複数に参加可能。お互いの議論を共有する仕組みは準備したい。

- ・ 3つのSWGが何を問題にするのというところから議論することになるであろう。SWG①は政策論的などころ、根本的などころを含んでおり、議論も丁寧に実施する必要がある。実際の進め方はどうなるのか？

（東京工業大学 高井）

→ 本日勝川先生からご紹介のあったノルウェイの仕組みにはじまり、様々な仕組みについて、情報を集めて、現場を理解して、進めていきたい。あわせてご意見・ご指導をいただきたい。

- ・ 議論だけではなくて、放射線のトレーサビリティーという話は具体化してきている。実践の場をすぐにでも小規模で構わないので、作ってほしい。

（三重大学 亀岡）

→ 議論先行ではなく、レスポンス早くさらにインパクトのある、実証可能なアイデアについては、早期に対応できるよう、SWGで対応していきたい。国の予算や状況なども確認しながら。

- ・ 産地と消費者をつなぐ取り組みとして、早ければ来月、遅くとも来月末にはから放射能トレーサビリティーを始めていくので、そこに是非本取り組みを活用させたい。

（鮮魚の達人 山根）

- ・ 24年度予算に間に合うよう、経済産業省・総務省に組み込んでほしい。

(三重大学 亀岡)

→現実からいうと、予算はある程度ないものと思って、お金のないところで、工夫してやっていくしかない。

(水産庁 上田)

- ・ 経済産業省でもスマートアグリといっているのので、スマート漁業みたいなのをやってほしい。

(三重大学 亀岡)

- ・ 最終的に、実事業に結びつけていくとなると、事業は標準化や社会的システム構築になるだろう。ただ、トレーサビリティのデバイス・タグなどの新技術が出た場合の、権利化・標準化、知的財産をおさえることなど、どうするのか？オープンにするのか、一業者にするのか、など、次の段階で、関連各社の情報発信・管理、認証機関をどうするか？実事業になった場合の法的権利など含めて考える必要がある。

(東京海洋大学 中村)

- ・ 予算については、大体予算を見越して、設計したものは今までうまくいった試しがない。予算ありきで設計すると、結果としてもよくない。

(水産庁 上田)

→ 少なくとも予算の動きなど、見通しがわかるといい。

(三重大学 亀岡)

- ・ 次回中間報告のときに、次のために、技術的などところにも（技術的課題も含めて）、何をやるべきかの洗い出しが必要だろう。活動期間の7週間の間に各SWGのリーダー間の緊密な連携をもつこと。また、SWGの運用まわりはクリアしておく必要がある。

(IBM 岩野)

- ・ 事業化の結果出てくる課題（標準化など）については、ほかWGでも検討すべき。小規模でまず結果を出して、その後は企業が力を貸していく姿勢は必須ではないか。このWGから、全体WGに向けて提案していくなど、全体WGへの連携も必要。

(ゼロフォース 白川)

- ・ ベンチャー企業の取り組み（南伊勢・雄勝）などでは、手弁当でやって行政にアピールしている（富士電機などと）。インターネットの水産取引も視野にいれていくが、放射能・トレーサビリティなどのエリアでの協力がほしい。

(ミツイワ 羅本)

→ 地元密着していても、苦戦。漁師はなかなか全員が放射能トレーサビリティをやろうとしない。

(鮮魚の達人 山根)

→ ひとつのモデルケースを作ると、そのモデルケースからはずれる人がたくさんいるので、そこをどうカバーしていくか。

(水産庁 上田)

→ 地元の漁師さんがやるというところに、モデルケースでもっていく予定。（ミツイワ 羅本）

- ・ 現場の人間をもう少しいれたい。
(鮮魚の達人 山根)